

英語であれこれ

第24回



Summer Holidays 夏休み

Most children in the UK get a six-week summer vacation before they start the new school year in September. This system was designed with agriculture in mind. Traditionally, each summer at the time of the wheat harvest everyone available was needed to help on the farms. The long vacation wasn't a break: it was so children could work on the land.

イギリスでは9月に新しい学年が始まりますが、その前に6週間の夏休みがあります。これは畑仕事をするを考えての仕組みでした。伝統的に、毎年夏には小麦の収穫があり、みんなが畑を手伝わなければならなかったのです。長い休暇はただのお休みではなく、子どもが農作業をできるようにしたものでした。

Until quite recently that arrangement made sense. But for Britain today it's less suitable: farming is now mechanized and requires fewer workers; most families now live away from the countryside in towns and cities.

つい最近まで、この取り決めは理にかなっていましたが。しかし今日のイギリスには合わなくなってきています。今や農作業は機械化されて、それほど人出は必要ありません。それに多くの家族が田舎を離れて街中に住んでいます。

Many people want to abolish the long holiday by spreading breaks more evenly across the year. Perhaps this would benefit students and teachers by giving them more regular time off. Plus, some students forget what they've studied over the summer holiday. Shorter breaks might help them retain what they've learned and improve their grades.

この長い休暇を廃止し、そのかわりに年間を通してまんべんなく散らばせたいと思っている人がたくさんいます。多分その方が定期的に休めるので、生徒や先生のためになるでしょう。加えて、夏休みを過ぎると学んできたことを忘れてしまう生徒も少なくありません。休みが短くなれば、忘れずに覚えておくことができ、成績も良くなるでしょう。

However, many others think the long break is a positive thing. Some argue it lets teachers and students rest properly before the new school year. Others say that spending the summer away from lessons gives children time to develop interests outside of school and become more independent: of course study is important but it's only one part of their education.

それでも、長い休みはいいものだと思う人も多いです。新年度を前に、先生も生徒もほどよく休めるというのが彼らの言い分です。また夏の間、授業から離れて過ごすことで、子どもたちが学校の外に目を向ける機会になり、より自立すると言う人もいます。勉強することはもちろん大切だけれども、それは教育の一部でしかないからです。

Recently the government has talked about a new approach: giving schools more power to decide their own term dates. Some schools have already been given these freedoms. It will be interesting to see if they opt to make changes to the summer holiday.

最近では、政府が新しい働きかけをしています。それは、各学校が独自に学期を決められる権限を持つというものです。すでに自由に決められるようになった学校もあります。夏休みを変えることになるかどうか、目が離せませんね。



Harvest 収穫



Wheat fields in England
イングランドの小麦畑



Wheat fields in the
South Downs, England
イングランド、サウスダウنزの小麦畑



広野町ふるさと創生大学通信

第2回 広野町ふるさと創生大学を開催しました

今回は8月4日に開催した第2回の講義風景を掲載します。

講義は、いわき明星大学教養学部准教授 高木竜輔 先生による「東日本大震災からの地域再生を考える」ー復興に求められる視点ーと題して開催されました。

今回は東日本大震災ならびに福島第一原子力発電所事故後の復興とは何か、地域社会とは何かということについて双葉郡8町村の調査研究資料に基づきながら、広野町にふれた講義でした。



○第1回の受講生から感想が寄せられましたので何件かご紹介します。

講義：「中世末広野の激動の歴史について」

講師：福島県考古学会顧問、元広野町町史編集室長 渡邊 一雄 先生

- 室町時代から戦国時代の歴史については、学校で教わりましたが、福島県の浜通り（特に広野町）の歴史にスポットを当てて教わったのは初めてでした。当時の広野町の歴史を以前から知りたかったので、今回の講義で武士による統治や寺の動きがある程度理解できました。今後も機会があれば受講したいと思います。
- 広野町の成り立ちがわかりました。広野町には城がなく、天領だったとも聞きましたので、今回の先生の話はとても楽しく、中世からの広野町がわかりとても興味深く楽しい時間でした。できれば、講義で名前が出たお寺の見学や地域を回るツアーの開催も考えてください。
- 先ず、先生のお歳（実年齢）と見た目の体力年齢を考え、このような先輩がいらっしゃる事に勇気をいただきました。いつまでも学び続ける本大学の目的にも沿っていて、第1回の講師として、最も相応しい講師だったと思いました。広野町、身近な視点から世界（征伐から侵略？）まで俯瞰する広い視点の広がり面白かったです。
- 私は出身が広野町ではないため、広野町に多い名字がどのように根付いたのか解ったので大変勉強になりました。この話を聞いた人だけではなく、広野の今後を担う人たちにも聞いていただき、後世の人にも伝わるようになったらと思います。
- 次回は、幕末から明治、大正、昭和の話を詳しく聴きたいです。

第4回 10月6日（木）午後6時30分～午後8時 ふたば未来学園の未来創造型教育について
興味のある方は、傍聴もできますので希望される方は講義前日までに下記にご連絡ください。

〈連絡先〉 広野町生涯学習課（公民館内） ☎0240-27-3244